

「議会報告と町民との意見交換会」開催要領案について

(議会フォーラム)

1 日 時 令和7年2月15日(土) 13時30分～16時20分(集合時刻/12時)
※ 当日の服装はノーネクタイ可とする。

2 会 場 めむろ駅前プラザ(2階セミナーホール/2つに区分し使用する)
※ 「議会報告会」及び「基調講演」の会場と「町民との意見交換会」の会場の区分

3 会議構成

- (1) 議会報告会(30分) *休憩(5分) (13:30-14:05)
 - ・総務経済常任委員会(5分)
 - ・厚生文教常任委員会(5分)
 - ・新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会(20分)
- (2) 基調講演(60分) *休憩(15分) (14:05-15:15)
- (3) 町民との意見交換会(60分) (15:15-16:15)

4 議会報告(30分)

- (1) 総務経済常任委員会(5分)
 - ・政策課題 「芽室町まちなか再生ビジョン」の検証並びにあり方について
 - ・報告者 正村紀美子総務経済常任委員長
- (2) 厚生文教常任委員会(5分)
 - ・政策課題 誰一人取り残さない防災体制の構築について
 - ・報告者 中村和宏厚生文教常任委員長
- (3) 新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員会(20分)
 - ・調査事項 新嵐山スカイパークの運営等に係る調査研究報告について
 - ・報告者 鈴木健充新嵐山スカイパーク経営改革調査特別委員長

5 基調講演(60分)

- (1) 講 師 山崎 幹根氏(北海道公共政策大学院長)
- (2) 趣 旨

年々、町内会等の自治活動への住民意識が低下する中、今後に向けて目指すべきコミュニティを考える機会とする。講演は前後半で視点を区分し、前半は参加者全員に対するメッセージとして「全国・全道のコミュニティの実態紹介

+主たる課題の抽出+課題解決の対策・方策」とし、後半は議会議員を対象にしたメッセージとして「議会・議員への影響+議会・議員が担う役割」とし、質疑を含めて全体で60分の講演（構成）とする。

(3) テーマ 「人と人がつながる新たなまちづくりを考えよう。」

(4) 基調講演の趣旨（前半）

- ・芽室町における町内会（地区別）以外の「分野別コミュニティ」の存在の共通認識を図る（町内会機能のみへのコミュニティ意識を緩和させる）。
- ・芽室町ならではの「コミュニティ機能（町民活動支援センター・総合計画審議会等）」を確認し共通認識を図る（既存の町独自のコミュニティ機能への気付きを促す）
- ・町内会を縦軸とするのなら、他の機能や役割を横軸と捉えて、線と線が交わり、面となってまちのコミュニティを形成していることを確認し共通認識を図る。（新たなしくみを構築することと同様に、既存のしくみの充実・活用のヒントを示唆する）
- ・道内の事例として、東神楽町（公民館単位の自治機能の構築）の取組などを紹介する。

(5) 基調講演の趣旨（後半）

- ・地方（町村）議会が「コミュニティのあり方」を考える意図や必要性は何か？が後半の主たる視点であることを問題提起する。
- ・一般論として、「コミュニティのあり方」を考える際に、行政が担う役割と議会が担う役割とは何か？違いは何か？の共通認識を図る。
- ・芽室町議会は、コミュニティの重要な機能である「町内会」について、これまでは、その意義や機能をどう捉えてきたのか？今後に向けてはどう捉えようとしているのか？広聴（意見聴取）の対象としてなのか？「なり手」の発掘としてなのか？等々を問題提起する（必要に応じて出席議員からコメントを求めることも要検討）。
- ・そもそも地方（町村）議会に課せられている責務と役割は何か？少子高齢化の進展に伴い、今後、地方議会に期待される責務と役割は何か？芽室町議会が個性と独自性を発揮することは必要か？等々を問題提起する。
- ・芽室町の行政経営及び芽室町議会との包括連携協定事業に長年関わっている立場として、講師に一定の総括をしていただく。

6 町民との意見交換会（60分）

- ※ 出席者をあらかじめ集約し、グループ構成を確定させる。
- ※ 6～7グループ編成／1グループ：8～9名（議員2名+参加者6～7名）
- ※ SOUNDCARD（7セット保有）を活用した意見交換会を実施する。

※ 山崎先生はオブザーバーとして最後に講評をいただくこととする。

- (1) コーディネーター 渡辺洋一郎議員（議会運営委員長）
- (2) ファシリテーター（グループ） 芽室町議会議員（6～7人）
- (3) テーマ 「人と人がつながる新たなまちづくりを考えよう。」
- (4) 趣 旨
 - ・意見交換（ワークショップ）の趣旨は、町内会（行政区・農事組合等）以外（地区別）の活動として、町内に存在する「コミュニティ機能（分野別）」を抽出し、それぞれの機能と役割を確認するほか、今後に向けた展望や期待感を出し合う。
 - ・意見交換（ワークショップ）は一定の結論を絞り込むのではなく、「コミュニティ」の定義を俯瞰して捉え、既存のそれぞれの「コミュニティ」の役割を重なり合わせて、今後のまちづくりを進める発想と共に、必要に応じてまちにふさわしい新たな「しくみ」の構築を考えるきっかけとする。

7 参集範囲＜目標人員：50名（議員除く）／グループ構成：6～7名＞

※ 各区分ごとに担当議員を割り振り、事前に直接依頼し参加者を確定させる

※ 十勝管内町村議会議員に対し参加案内をする（議会報告会・基調講演のみ）。

- (1) 町 民
 - (2) 市街地町内会連合会役員（市街地町内会長）
 - (3) どんぐり会
 - (4) めむろみなくる商店会
 - (5) 白樺学園高等学校・芽室高校
 - (6) 議会改革諮問会議委員
 - (7) 議会モニター
 - (8) 町内各種団体（農協青年部・女性部、商工会青年部・女性部等）
 - (9) 町民活動支援センター
 - (10) 町職員
- ※ 十勝管内町村議会議員（事務局経由で情報発信）

8 役割分担＜（2）～（6）は各常任委員会から半数ずつ選考／別途詳細整理＞

- (1) 司会進行（1名）～議会運営委員長
- (2) 会場レイアウト作成・当日会場運営指示・誘導（設営・撤去）（4名）
- (3) 受付・資料配布（2名）
- (4) 会場内案内・音響操作・座席追加等（2名）
- (5) 記録（写真・報告書）（2名）
- (6) グループワーク・ファシリテーター（6～7名）

9 今後のスケジュール（広報・参加案内等）

- (1) ～1月28日（火曜） 開催周知（議会HP・SNS）
関係機関案内開始＜参加者報告期限：2月3日（月）＞
- (2) 2月1日（土） 新聞ちらし折込（勝毎・道新）
（参加申込期限：2月6日（木））
- (3) 2月7日（金） 参加者確定（グループワーク構成決定）

10 特記事項

- (1) 講師旅程 2月15日（土）・日帰り行程（JRは講師自身が手配）
 - ・往路：札幌発7時58分（とちち1号）→芽室着10時33分
 - ・復路：芽室発19時32分（とちち10号）→札幌着22時15分
- (2) 会食対応
 - ・昼食：事務局
 - ・夕食（飲食店）：議長、議運委員（7）、事務局（1）